

2024年度・第10回未来会議(全体会)議事録

鹿ノ台未来まちづくり会議(未来会議)副会長(会長代理) 黒部 實
副会長兼書記・広報 伊藤 智子

日時: 2024年1月19日(日)13:30~15:25

場所: いきいきホール談話室

出席者(順不同、敬称略):

黒部 實(副会長)、伊藤 智子(副会長・書記・広報)、鎌田 卓(事務局長・会計)、
黒田 勝行、山田 勲(連携担当役員)、塚本 麻由、山田 修、菊地 雅夫(連合
会長)

オブザーバー: 中尾節子

欠席: 渡辺 昇

配布資料: ① 令和6年度第10回(1月)未来会議(全体会・分科会)議題(案)
② 未来会議令和7年度 年間計画(案)
③ 第二回春まつり V2 準備事項チェックリスト
④ 春まつりチラシ
⑤ 春まつり特別企画「地元のお店とコラボレーション」チラシ
⑥ 連合予算案方針(案)
⑦ 令和5年度のクラブ助成金について
⑧ 令和6年度のクラブ助成金について
⑨ 連合会決算推移予想 Var.3
⑩ R6年12月度 鹿ノ台コミバス乗車実績(確定値)
⑪ 鹿ノ台地区の各集会所の基礎調査一覧表

連合会の課題と未来会議との協議について

協議の進め方について:

未来会議会長代理: 基本的に未来会議幹事会に連合会長にご参加いただき、議論した結果を未来会議全体会に報告し、確認を取るという形で実施していきたい。1月の幹事会にも菊地連合会長にご参加して頂き、3時間ほど議論した。ご意見は幹事会メンバーに寄せていただくようお願いしたい。

意見: 連合会長と幹事会が検討し、全体会に報告するという事は、連合会との打ち合わせに全体会のメンバーは参加できないのか。

返答: 全体会で議論するには時間がかかりすぎるので、幹事会で集中的に議論を行いたい。全体会で結果を報告するので、ご意見があればその時にお願ひした

い。この方式で議論することについて、ここで決を採る必要があるか。

意見： 決を採っていただかなくて結構だ。

連合会の課題について：

連合会長より： 現在の支出レベルを来年度以降は維持できない(赤字になる)ことがはっきりしたため、関係各位に予算圧縮へのご協力をお願いしている。

委員会については、ピーク時(H30年度)に総額で478万円(R6年度は389万円)が支出されていたが、R7年度予算では260万円位まで圧縮していただく必要がある。クラブ活動への助成は以前に取り決めた通り、助成金をゼロとさせていただきたい。

子ども会・ボーイスカウトに関しては、資源ゴミ収入からの分配金とは別に、R4年度までは文化クラブとして助成し、R5年度以降は連合からの助成金として、桜美会の助成金と合わせて12万7000円を支出してきているようだ。桜美会の中には実際の活動人数よりも多い会員数に基づいて助成が行われているので実態に即して削減していきたい。

これらの予算削減が実現したとしても、納涼祭予算は110万円(R6年度は336万円)しか確保できないため、納涼祭の実施方法についても抜本的に変更していく必要がある。ただし、各評議員会では納涼祭を続けて欲しい、花火も必要だという意見が多かった。

R7年度以降の納涼祭について：

花火代 R6年度に90万円だった。祭りをするのに最低限必要なのは、保険料5万円、暗い通路を照らすボンボリ3個5万の合計10万円である。総予算が110万だとすると、櫓やテント、音響機器のレンタル料などは確保できない。

意見： これまでのような納涼祭を止めて、春まつり(予算3万円ほど)に準じた祭りを実施したらどうか。

返答： 納涼祭は夜に実施するので予算的に春まつりと同じにはいかない。また、予算以外の問題もある。まず、昼間から準備が必要であり、熱中症警戒アラートが出る中で高齢な評議員や警備担当の方の安全確保が難しくなっている。他にも、連合役員会も4月～8月まで納涼祭準備に忙殺されており、他の仕事に手が付けられない問題がある。

意見： 有志の実行委員会を組織して、春まつりのような予算をかけない祭りを実施したら良いのではないか。

街区公園の維持管理について：

現在、鹿ノ台地区の街区公園の維持管理費は連合予算から拠出されているが、

その支出が市からの委託費を大幅に(126.6万円)上回っていることが連合の財務状況を悪化させる一因となっている。しかし、市が公園管理のあり方についてR7年度に検討を進め、R8年度より希望に応じて市が管理を引き取るという可能性も出てきた。しかしそうなった場合、連合会の公園管理費の負担はなくなるが、現在の頻度で草刈りが行われなくなる可能性もあるので、住民の意向を確認する必要がある。

自治連合会長より

予算の圧縮260万くらい必要。その方向で予算案を作り直した。

クラブ助成金は R7年度にゼロとする。子ども会・桜美会・ボーイスカウトへの連合の支出は計12万7000円を確保する。桜美会には市からの収入もあり、合計で年間220万円の予算となっている。

納涼祭をなくす提案に対しては、各評議員会では続けて欲しいという意見が多かった。しかし納涼祭を実施するには、熱中症警戒アラートが出るなかで昼間からの準備が必要であり、警備

担当の地安推のメンバーも高齢化しており、厳しい状況となっている。連合役員も納涼祭の準備で8月まで他のことができないという問題もある。

公園の整備についても、市内128自治会で街区公園がある自治会のなかには、公園整備をせずに市から助成してもらっている自治会がある一方で、整備費が赤字となっている自治会もある。市が一旦公園整備を市の管轄に戻すことも検討されている。

いきいきホールは光熱費と当番さんボランティアへの支払いで130万円ほどである。

令和7案 予算案④

将来的な自治会・連合会のあり方について、未来会議で議論していただき、提案していただきたい。

オータムフェスタ 10月中旬から10月末で収めること検討している。

連合会からの補助金(菊地連合会長より、鹿ノ台自治連合会の現状と課題について、前回に引き続きご説明を頂いた。内容については今後、連合役員会より適宜公表される予定であり、本議事録には記載しない。)

自治連合会は目下、財務上の課題を洗い出し、来年度の予算編成に反映していくことに取り組んでいる。しかし、制度的な課題など、その他の重要な課題に取り組む余裕はなく、また、そのような課題は、連合役員会の枠を超えた場を設定し、ご議論いただければ、と考えます。

諮問委員会という位置付けでもある未来会議が中心となり、今後の自治会のあり方について議論し、若い方のお考えも反映した形で提案をまとめていただけな

いだろうか。

質問： 提案を提出するまでの期間を1年間ほどと考えればよろしいか。

回答： 今年度末に暫定的な提案が欲しいが、それは無理であろうから、半年から1年かけていただいたら良いだろう。

意見： 来年の夏くらいには最初の提案ができるだろう。

質問： そのような場を設けるのであれば、未来会議としては、連合との合同の部会として、自治会長を経験されている連合役員会の現メンバーから2名ほど、可能であれば次年度の自治会長からも1～2名ご参加いただければ、地に足の着いた議論ができると考えるが、いかがか。

連合会長： 連合役員会に持ち帰って検討する。

鹿ノ台春まつり

配置について：

キッチンカーを10台お願いしたので、広場の南側に7台、北側に3台配置する。北側には他にフリマ・マルシェ、子どもイベント2種を配置する。広場の東南にバンビカフェとバンビマルシェを配置する。各キッチンカーからの行列を整理するため、それぞれのキッチンカーにつき2列の行列となるようコーンとバーを配置する。これは前日に作業を行う。

チラシについて：

春まつりのチラシ案は1か所修正し、最終化する。商店街3店舗とのコラボ商品（お弁当・パン等）のチラシを別途作成する。この2枚は戸別配布ではなく回覧とする。回覧時期は1月中頃を予定している。

作業日時について：

準備は、前日3月28日は昼から、3月29日は早朝からの作業となる。関係者の皆さんは予定していただきたい。

コミバスの乗車実績

R6月11月度は1日あたり59.2人、1便当たり平均7.4人。前年同月比で123.3%増加、対運行経費収入比率は31.59%（見込み）であり、生駒市の基準30%をクリアしている。

意見： コミバス委員会の解散に伴い、業務を連合担当役員に移管していくため、引き継ぎをお願いしたい。

次回

日時： 2025年1月19日(日) 13:30~16:00
第I部 全体会 13:30~14:30
第II部 分科会 14:30~16:00

場所： いきいきホール大会議室

以上